常磐毎日新聞

日刊

九月二日夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣　平、長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二二〇番

交附金が控除され
戸數割の負擔輕減
平均負擔は十三圓五十錢
十日頃から審議

平市の臺所を切り盛りする特別税戸數割賦課決定の市會は大體來る十日召集することになり目下市當局は一戸當り十八圓十五錢二厘を基本として賦課額の調査を進めてゐるがこの平均負擔額には本紙既報の如く臨時財政調整交付金（本縣は平均に一世帶四圓八十五錢、一人當九十五錢）が控除されるわけでこのため先般の市會で戸數割の平均額が十五錢二厘の增額を見たとは云ふもの〻前記交付金が控除されるので平均額は大體十三圓五十錢內外となり市民大衆の負擔は非常に輕減される譯である

助役と收入役
結局どうなる
各派で肚の探り合ひ

別項、來る十日頃召集される戸數割市會には菅沼市長から助役並に收入役の推薦が行はれるが市會一派では躍進平に相應しい新人を起用して廳內の空氣を刷新すべきであるとの聲も擡頭してゐるが現酒井助役にせよ西野收入役にせよ既に過去一期間は市政事務に携り然も市制施行に際しての努力も買つてやるべきで道義上から云つても兩氏の再選は然るべきであるとの現狀維持を主張するものも多數あるので結局は菅沼市長の腹としてもこの純理論に則つて極力兩氏を推すものと見られてゐる

社會課新設
市役所內異動

平市役所では處務規定の改正に伴なひ社會課を新設一日付左の如く辭令を發し一部異動を行つた

平書記　四家久米治
命平市主事社會課長兼職業紹介所長
同　佐藤伊太郎
命社會事業係主任
同　長谷川政
命學務係主任
書記補　新妻達雄
命戸籍係
同　橋光二
命文書係

軍事扶助協議
けふ平市に

平市及び石城郡下各町村の軍事扶助法に關する協議會は三日午前九時から平市會議事堂に開き縣から岩瀨社會課長臨席左の諸件を附議した

一、軍事扶助法の普及徹底の件
一、今次事變に關し應召せられたる軍人の遺家族扶助慰藉の件
一、軍事扶助法改正に伴ふ生活扶助費增額の件
一、兵役關係者全員に對する生計調査の件
一、應召被傭者に對する職業保障法の勵行並に遺家族の職業斡旋の件
一、出征軍人遺家族扶助團體設立の件

軍事後援會の寄附者

平市軍事後援會の寄附金は二日までに合計九百二十七圓二十四錢に達したが現在までの寄附者左の如し

△二百圓高橋博明△百八十一圓十九錢平聯合靑年團長山崎忠兵衛△百圓小宅喜久治、森本盛一、△五十圓木村寅次郎△四十圓多田井笑次郎△三十圓久野ヒサ菅本庄司△二十四圓八十錢色川製材會社、有隣納税組合、△二十圓安齋徹、平軍人分會靑年團聯合、横山キク、△十八圓八幡神社々司△十七圓五十錢平果栄組合、△十二圓關原新一郎△十圓深見米吉、水野鄕吉、高久忠△五圓金古キミ、井坂幸子

義俠のペタルを踏んで山坂七里
重大な任務を果す

入遠野村字平口生れ當時東京市本所區大平町居住平子政春君は今回突如重大任務の報に接し歸鄕の際植田驛で下車したが役場集合の指令の時刻まではあと幾何もなく慌てためいてゐる處を同町辰ノ口木田福馬さんの義俠で自轉車を借受け直夜七里の山坂道をペタルを踏んで駈けつけ漸く重大責務を果し喜んでゐる

官民一致し
滿洲事變記念日の
時局を反映

平市役所では來る十八日の滿洲事變記念日に當り日支事變重大化の折柄一層意義あらしむるべく準備中だが何れ具體案を協議の上官民一致のもとに多分に時局を反映せしめることになつた

平少年團へ
東朝から謝狀

平少年團の軍用機献金百十三圓九十三錢は既報の如く東京朝日新聞社平通信部に寄託したが本日同社通信部長木村東氏より同團宛左記の如く懇篤な謝狀が到着した

謹啓、貴團は本社の提唱せる軍用機献納運動に贊助せられ炎天下三日間に及びて街頭募金に當り航空報國思想の普及涵養に努められたるは吾人の最も慶びとするところに有之茲に深甚な敬意を表し申候、敬具

天氣豫報

今晩は北の風曇驟雨模様
明日は南東の風晴驟雨模様

大賭博に飛火して
江名の恐喝事件
十三名檢擧

平市材木町居住元コック岡島正義（三〇）同一丁目富士食堂コック鮎澤市太郎（二七）同月見町居住石井勝之丞（二八）同南町元コック中野豊重（三〇）同渡邊精二（三〇）の五名は江名町料理店山口屋を恐喝した嫌疑で平署に檢擧目下嚴重取調中であるが取調べの結果前記山口屋を根城として町有力者や船頭等と共に連續賭博開帳が明らかとなり事件は其方に飛火し二日朝迄に十三名の檢擧を見更らに擴大の模様である

教へ子に持つ吾々も名譽
平少年團献金傳達式上讃辭大要
平第一小學校長　篠山廉氏

この夏は近年にない酷暑で家に居てもうだる樣な嚴しい折少年團員が制服に身を堅めて自動車の塵りを浴びながら街頭に起つて連日

三日間　軍用機献金の運動を續けたことは唯に航空報國の思想を全市民に植えつけたばかりでなく、この尊い銃後奉仕に邁進された健兒諸君を教へ子に持つ吾々としても非常な名譽に思ふのであります、併も私共はこの

青筒を　割る前に五六十圓も入つてゐれば大成功だらうと豫想したのですが割つてみると實に百十四圓近くの大金が入つて居り如何に健兒の皆さんの三日間の奮鬪が平市民に深い刺戟と感銘を與ふる上に力あつたことをを思はせるのであります、然もこの金高は

お金持　ちから見ればほんの僅かゝも知れない、がこの金の中には全市民の國を思ふ美しい心が充滿してゐるのであります、健兒諸君はこの意味から云つても時宜に適した立派な團体

行動を　行つたものであつてしかも一人の病氣落伍者もなくこの運動を遂行したことは大きな慶びとせねばなりません あと二、三日で休暇も明け學期初めを迎へるのであります

諸君達　はこの休暇中尊い體驗を積んだことになるのです、この銃後の誠心を忘るゝことなく新學期を迎へて一層勉强して將來のよき國民となる樣心掛けて貰ひたいのであります。

（！）

小學校敎員異動

勿來町及び田村郡夏井村兩校長の後任補充と除隊歸校による助教員の整理を含む縣下小學校教員の異動は昨一日發令されたが本郡關係は左の如く平第一校の菅波首席訓導は雙葉郡新山校長に拔擢された（括狐內は舊任校）

▲校長異動　勿來當塚今朝治（新山）新山菅波國尙（平第一）

▲退職　植田小山田キノイ　▲轉補　原町齋藤操（上遠野）內鄕二吉田マサキ（上大越）小名濱橋本榮作（廣野）入山吉田正直（飯豊）高久鈴木榮壽（翁島）勿來戸村紀一（入山）植田小野絢子（平第三）平第二吉田正二（上大越）平第四藤波富雄（師卒）田村移宗像惣作（勿來尋高）

▲準代用轉任　耶麻熊倉鈴木正（平第四）

知事の歡迎宴
けふ本店に

君島本縣知事は一日來郡植田町鮫川堰を視察して同町一泊、二日は勿來町昭和人絹、小名濱、中ノ作、江名、豊間回春園を巡視の後午後來平、平署土木監督所に至り同夜市內住吉屋本店に宿泊、午後六時から菅沼市長、野崎市會議長、八巻警察署長三氏發起の歡迎會が催される

榮轉の菅波校長
滿三年間努力の賜

別項、今回の教員異動で雙葉郡新山小學校長に榮轉された平第一校首席訓導菅波國尙氏は本郡神谷村出身、大正六年磐中を卒へ大正七年本縣師範學校第二部卒業後草野小學校を振出しに錦村及伊達郡桑折校訓導を經て昭和四年安達郡和田尋常高等小學校長となり昭和九年四月平第一校の首席訓導に迎へられ滿三ヶ年間篠山校長の女房役として本郡教育の樞機に參劃し努力してゐた人だけに今回の轉任は各方面から惜しまれてゐる氏は喜びを滿面にたゝへ

平の三年間は私の教員生活中最も有意義なものであつた、郡の教育事務に參加して種々の計劃に當つたが平市の獨立に伴ひ分離される最後迄事務に當り全く得る處があつた、平は故鄕に近いだけに同窓生や先輩などが澤山居り種々面倒をみて貰つたのは有難かつた

第一校の正副級長

平第一校は既報の如く今二日第二學期間に於ける各學年の正副級長を左の如く交替した第二校は都合に依り明三日に延期

三ノ一―佐藤紀文、伊藤利平、三ノ二―薗部武久、蓮沼清夫、三ノ三―鈴木久一、鈴木秀明、三ノ四―坂本政直、吉田實、四ノ一―長谷川直義、豊口皓、四ノ二―小林智年、門馬久夫、四ノ三―山崎慶一、市原亮三、五ノ一―市原二良、千葉文彦、五ノ二―清水宣政、忠賀惠三、五ノ三―大和田一郎、武田太一、六ノ一―根本孝三郎、豊口秀哉、六ノ二―鈴木仁山崎七郎、六ノ三―柏木洋二、阿部正義、六ノ四―山崎靖夫、緑川虎之助、高一ノ一―齊田義郎、田山弘平、同二―野澤芳男、緑川三郎、同三遠藤保雄、大平泰明、高二ノ一木下藤三、小野正吉、同二眞田八郎、遠藤二郎

商業美術の教育について（七）
平商業學校圖畫教師　齋藤久基

若し圖案、手工といふものを認めてゐたならば今日の中等學校の圖畫教育は、商業學校に於ては逸早く商業美術を正課として迎へるだけの勇氣が出るのであるが、中等學校の圖畫教員の多くは純美術家方面より來るものが多いために、美術偏重主義が多く、その結果として美術の專門的教育となつたかの嫌がないでもない。即ち天才教育に重きを置き、美術家を養成するやうな傾になつてゐる。このため中等學校では一般生徒は圖畫に興味を失ふものが多いのである。

また教師も常にキャンバスを持ち出し、展覽會に出品することを得意とし、口には藝術論を以て實用や功利を卑しめ、藝術家的生活の雰圍氣を釀成する。故に美術家を志望する生徒のみが憧憬を抱いて、遂に美術家を養成するの傾に陥つてゐるのである。かくて何人美術學校志望者を出したかといふことが今日の圖畫教育の成績となつてゐるかの觀がある。

中等學校の圖畫教育はかくの如くであつてはならぬと思ふ。

學校の教育は幾多の隱れたる個性を誘發するといふことが仕事であつても、今日の學生を特殊な美術家志望にのみ引き出すために、何十人かの生徒を犧牲にしてまで教育が施される必要はない。眞の天才は踏みにじられても抑へられても、萌え出る機會さへあれば芽を出す。

學校の教育は少數の爲の教育でなくして、多數の生徒のその各々の才能を抽き出し、それぞれの適當なる業務に必要なるためのものを見出してやるのが一つの仕事である。

人には各々異つた才能や性格がある。物を器用に作るとか、緻密な仕事が好きであるとか、忍耐強いとか、奇拔なことを常に思ひつくとか、組立を行ふことが好きであるとか、これ等の性格なり才能は、圖畫が上手とか下手とかを度外して、その人間の創作的行動の中に表はれて來る。この習性を見るには圖畫科が最も適してゐる。そしてこの習性に於てその人間の最も不得意とするものを矯正するのも圖畫科によつて行ふことが出來る。

然し圖畫科を純美術家を作ることを目的とするやうに教へるのでは、この方法は見出されない。何となればそれは藝術的に偏り過ぎて、與へられる課題や習練法が純繪畫の境域をぬけ切れないからである。

九名密かに召換
湯本町議違反事件か
櫻井檢事嚴重取調

平檢事局は昨一日來湯本町天王崎製綿業阿部喜佐松（五四）同人妻ヤスノ（四八）同長男謙二（二六）吹矢料理業白鳥助太郎（五〇）傾城日雇今泉勝義（五三）三函同齋藤里吉（四四）淺貝同佐藤直意（四六）下淺貝同高橋源之助（五〇）榮田炭礦坑夫藤田兵俉（四七）の九名を召喚櫻井檢事係り忍かに取調べ中であるが前記阿部喜佐松が湯本町議戰の落選候補者である處からみて同人に絡まる選擧違反事件らしく成行注目さる

馬糧用の餌草苅り
採取し献納

入遠野村上根本青年分團長長山一美氏外三十餘名の青年團男女は銃後の奉公として去月三十日炎天を衝いて馬糧用餌草百八十束を採取献納した

磐女が千人針
銃後の赤誠

磐中は日支事變勃發以來國防献金、戰捷祈願等溢る〻銃後の赤誠に大和撫子の健氣な働きをみせてゐるが今度は九百五十名の全校生を總動員して千人針を作り國防の第一線に立つて活躍してゐる將兵に贈る事となり今二日の放課後から着手した

武術大會
十二日に延期

既報來る五日催される筈であつた在鄕軍人平市及び石城聯合分會の武術大會は十二日に延期

青年學校始業

暑中休暇で休んでゐた平青年學校の新學期始業式は晝間部は來る四日、夜間部は同七日行はれると

平市聯合青年團
對抗軟式野球戰

平市聯合青年團主催の各團對抗軟式野球大會は來る十四、十五の兩日平商第一兩球場に開催される申込締切は十日で十二日キャプテン會議を開き組合せ其他を決定すると

スリ事件
求刑通りに

既報湯本町の盆踊りでスリを働き檢擧起訴された湯本町三函居住神奈川縣生れ土工大山辰太郎（四六）に係る窃盜事件の公判は今二日午前十時から平區で野木判事係り大脇檢事立會の下に開廷されたが檢事から懲役十ヶ月の求刑あり判事から即決求刑通りの判決を言渡された

按摩轢殺
禁錮一ヶ月

既報平區から禁錮四ヶ月に處せられ不服で控訴を申立た浪江街頭の按摩轢殺事件――仙臺市二十日町平山定夫（二三）今野正法（二七）の兩名に係る自動車規則違反並に業務上過失致死の公判は昨一日福島地方裁判所で開廷されたが何れも禁錮一ヶ月の判決を言渡された

二學期行事

平商は今二日放課後新學期初頭の職員會を開き二學期間に於ける行事に就いて打合せた

磐女成績展

磐女は今二日から三日間全校生の夏季課題成績品の展覽會を開催する

平市人事

回出生
△大室字古堂二九鈴木正氏二男勝重さん
△才槌小路二八木田純一氏三女登喜子さん

回死亡
△大工町一六菅原隆（四二）さん

JOHK

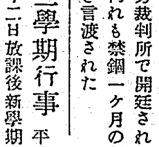
今晩の部

▼後六、〇〇　連續童話劇「日出ちやんのお手柄」大阪放送童話研究會
▼後六、二五　連續講座「現下の支那」木村增太郎
▼後七、三〇　講演「海外に於ける放送の諸問題」荒川大太郎
▼後八、〇〇　浪花節「伊達如水軒と堀部安兵衛」木村友衛
▼後八、三五　長唄「橋辨慶」伊四郎和吉連中
▼後九、〇〇　連續講談　貞山
▼後九、三〇　時報　ニュース明日の話題氣象通報番組豫告

明日の部

▼前一〇、三〇　家庭連續講座「時局と國民の覺悟」―林龍太郎
▽後〇、〇五　和洋合奏　江東管絃樂團
▽後〇、二三　國民歌謠　松原操　內田榮一
▽後二、三〇　婦人講座「今日の家庭生活に必要な經濟知識」氏家壽子
▼後六、〇〇　少年少女獨唱大會　菊島靜子外
▼後六、二五　連續講座「現下の支那產業の發達と事變の影響」
▽後七、三〇　管絃樂　日響
▼後八、〇〇　義太夫「繪本太閤記」竹本小仙
▼後八、三〇　連續講談「軍事探偵鐘崎三郎」（終席）龍齋貞山
▼後九、〇〇　時事解説「ソ支不可侵條約について」法博芦田均

壁の塗り替へは！
カセイン
大谷建材店
平市紺屋町
電話三六六番



白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗涯畫
布施長春書
村瀬春映書

藏前八幡社（一）

『大丈夫だよ。揃つて相談したらこの話は沙汰やみだ。いや、元締は[illegible]にや[illegible]をしても、手をおろすことにや不服を唱へることは決つてゐる。だからさ俺らが勝手にしたことにして置けやい。でないとな。俺たちが好くつても大事の身の上からに始終纏つきを出すやうなことがあつちや可哀さうだ。だから、元締の[illegible]のかゝらねえところで、たまにや[illegible]と[illegible]をしてもお上の御用を勤めて[illegible]なくつちやいけねえよ』

『いや。まつたく[illegible]の云ふ通りだ。枝の兄哥、[illegible]ぎにもなるんだ。元締に内緒で行つけやう』

『好し。判つた』

『ところでだ。どうも敵手はなかく手剛さうだから、俺達三人とあと三四人[illegible]にしたもんだらうな』

『若いが金次を一人入れて行かう』

『うむ。それから』

と、權兵衛は二人の顔をみつめると、仁兵衛は[illegible]くうなづいた。

『な。どうせ今に小左衛門は[illegible]門になるかも知れねえ。さうなると[illegible]うるせいから、小左衛[illegible]を入れて行つて、[illegible]々しく[illegible]死させる[illegible]をとつた方がいゝと思ふぜ』

と、權兵衛の顔を見返した。權兵衛も[illegible]も妙[illegible]だといふ顔をして強くうなづいたのであつた。

[illegible]社の[illegible]で名高い[illegible]。そこには[illegible]の明神と並び稱へられた江戸の氏神八幡社が鎮座ましましてゐた。そして、[illegible]の[illegible]は大抵この八幡社の境內で催されてゐたものであつた。つまりそれが江戸[illegible]の[illegible]所なのである。ばかりではない。八幡社の境內には、いろ／＼の[illegible]が[illegible]のなかで催されてゐた。たとへば[illegible]を[illegible]した[illegible]、役者[illegible]をはじめ[illegible]芝居や、その[illegible]の出[illegible]を[illegible]に住[illegible]んだ[illegible]など、[illegible]の好い[illegible]で客をあつめてゐた。したがつて、[illegible]うした[illegible]りがまた喧嘩の[illegible]所のやうになつてゐたのであつた。

『さあ。いらつしやい。今が[illegible]度[illegible]の正念場。[illegible]の[illegible]ばてれん[illegible]落の[illegible]でござい。いらつしやい／＼』

と、木戸番の[illegible]の[illegible]い[illegible]面の[illegible]が、札を叩き合つて懸命にさけびながら有象無象をよびつけてゐた。

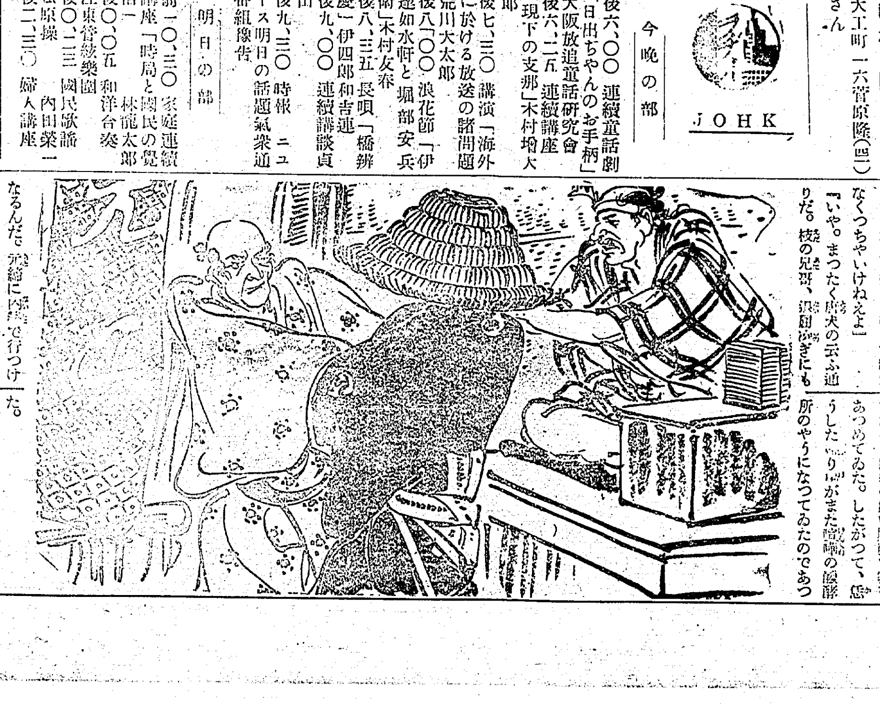
じつとその[illegible]小屋の前へ立つて、[illegible]彩色の見るから[illegible]な[illegible]看板を[illegible]めてゐた[illegible]の浪人らしいのが、何と思つたか木戸をへらうとした。

『待せ』

『おつと待つた』

と、內木戸に頑張つてゐた此[illegible]の[illegible]元らしいのが、どんとその浪人の[illegible]をついた。

すると、木戸番の[illegible]面の男が[illegible]の上から、その浪人の[illegible]へ手をかけて[illegible]の方へぐつと引摑り[illegible]



昇つたり…降りたり… 飛行機の操縦方法

ちう返りしてもおちぬわけ

けふは實際飛行機が離陸、着陸する時のお話しをしませう」「さあこれから出かける」と云ふ前になると操縦者は飛行機に車止めをしたまゝ發動機をかけてプロペラをまはし四、五分間發動機や機械油をあたゝめます、それから

發動機の の最大廻轉數の試驗そのほか各部分の點檢を充分にすませ、どこにも故障のない事を見きはめると車止めをはづして地上を滑走させながら出發點に行きます、飛行機は離陸の際も着陸の際も必ず風に正面の位置にするのです、つまり飛行機は眞正面からの向ひかぜをうけてとびだしたり、おりたりするのです、ですからかぜの方向のかはらないかぎり飛行機の

右の方向 へ離陸した飛行機は必ず左の方向から着陸するもので、右の方向へとんで行つて右の方向からおりてくることはありません

○

いよいよ出發となると發動機を全速廻轉させ滑走を始めます、この場合昇降舵はすこしの間下げ舵をとるのです、これからのぼるといふのに

下げ舵は すこしをかしいやうにおもはれますが、これは地上についてゐる機體の尾部をはやく持ちあげて機體を水平にさせるためです、水平になればかぜの抵抗も地面の摩擦も少くなり、はやく空中にうくことになるのです、飛行機の飛び出す時を御覧なさい、きつと滑走中にお尻があ[illegible]つれだんだん飛行機は空中にうきあがり、上げかぢをとれば飛行機はぐんぐん

高く昇り はじめます、所要の高さに達すると發動機の廻轉數を八〇パーセントに減少させるのが普通で、かうする事を經濟馬力にすると云つてゐます

○

降りる時には發動機を減少廻轉數（約[illegible]分二、三百廻轉）に下げ昇降舵はもちろん下げかぢです、飛行機の種類によつて多少の相違はありますが、約

十五度位 の降下角度で滑空しながらだんだん地上に近づき、地上約四、五メートルに來たらまたあげかぢにして機首が地上にぶつからぬやう機體を水平になほし、地上一メートルくらゐになつたら地面に接するやうに小さくかぢをうごかして、出來るだけしづかに接地着陸するのです

○

また全速力で飛ばしながら

急に上舵 をとると機體に餘力をかつてくるりつと一廻轉します、宙返りといふのはこの方法です、機體が丁度仰向きになつた時に、廻轉する力がなくなるとたう乘者はおちてしまふわけで、實際おちた例もありますが餘力があれば遠心力で決しておちる事はありません

○

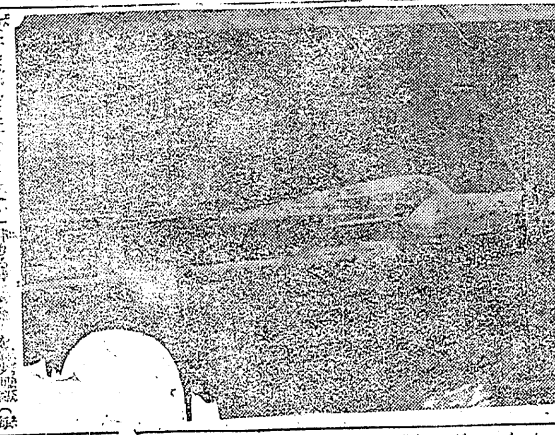
みなさんは空氣中の酸素はたかくなる程稀薄になることを知つてゐますね、ですから飛行機でぐんぐん空高くのぼつて約五千メートルくらゐに達すると

大抵の人 は少し呼吸が困難になります、陸軍では五千メートル以上のぼる場合は酸素吸入器をもつてゆく規則になつてゐます、實際はよわい人だと三千メートルくらゐでくるしくなつてしまひますが、飛行家はみんな丈夫で七千メートルくらゐまでは平氣です

○

飛行家に「飛行機に乘つて何が一番愉快ですか?」ときいてみると大抵の人が自分の郷里の空をとぶ時と雲のうへをとぶ時だと答へます、下界は降らうが曇らうが、雲のうへはいつもお天氣です、目を射るやうな

太陽の光 が銀翼にかがやき下はちぎつてすてたやうなふんわりとした綿雲、思はず飛行機からおりて腰かけてみたいなあ——と考へるさうで一番恐ろしいのは霧だそうです、うつかり霧の中にでも突入しようものならそれこそ大變、プロペラがとまつたり機體もろとも黑焦げになつてしまふ危險があるからです



正確の時計

米國物理學者が試驗中

○…どんな正確だといはれる時計でも、多少の進みおくれはあるものですが、米國で最近千分の一秒まで正確にはかれる時計が製作されました、固定された時計は比較的正かくに時をはこびますが、はげしい動搖をあたへたりするトケイでこんな正かくなものは初めてです

○…このトケイは振子のかはりに一秒間に十萬回振動する水晶體がつかつてあるのが特徴です、その水晶體の振動を特殊の電氣裝置で電流にかへ、その電流で小さなモーターをうごかし、一秒間に二回秒の割で針をうごかす樣な仕掛になつてゐるもので、動搖のもつともはげしい潜水艦に裝置して試驗しましたが六週間にわづか十分の三秒すゝんだだけだつたといふのですからおどろくべき成績です

今度東京の上野動物園でキリンが仔を生みました 仔は大變元氣で生れるとすぐピョンピョンとびまはつて遊んでゐます このキリンの仔は二萬圓もします（寫眞は仔を生んだキリン）

みなさん御存知の日本の誇り村社講平選手の勇姿です 村社選手は來たるべきオリンピックを目ざしていまから猛練習を行つてゐます 三年後、東京でひらかれるオリンピックでは必ず目ざましい活躍をしてみなさんをよろこばせてくれるでせう

雲のいろいろ

雲のできるわけ

鐵瓶の湯がわいてくると、口から白い湯氣がのぼります。これは、鐵瓶のなかの水が、火で熱しられて、水蒸氣といふ、目に見えないかるい氣體になつて、空氣のなかへのぼつてきたからであります

ところが、水蒸氣は、冷えるとまたもとの水になるもので、鐵瓶の口からのぼつてきた水蒸氣も、外のつめたい空氣のために冷えて、細い水たまとなり、それが白く見えるのです。また水蒸氣は、もつと低い、零度以下の溫度にあふと細い氷の粒になります。この細い水たまや、氷の粒が、空高くうかんだのが、あの雲なのであります

茶碗などへ入れた水を、日向へだしておくと、誰も、飲みもこぼしもしないのに、減つてきます。これは、茶碗のなかの水が、太陽に熱しられて、水蒸氣となり、空氣のなかへのぼつたからであります

これと同じわけで、地球上の海や川、湖、または陸にある水は、いつも太陽の熱にあつて、水蒸氣になり、空氣のなかにふくまれてゐます

ところが、この水蒸氣をふくんだ空氣が、あたゝまつて、空高くのぼつてから冷えたり、山の斜面をのぼつて冷えたり、または、つめたい空氣にあつて冷えたりすると細い水たまや、氷の粒になつて、あの大空のいろいろさまざまの雲となります。それから、この水蒸氣が地面とか、水面の近くで冷えて、細い水たまになつたのを、霧とかモヤとか、霞とかよんでゐます

さて、この細い水たまも、二粒、三粒とくつつきあつて、大きい水たまになると、おもくなつて、もう空にういてゐられず、下へおちてきます。これが雨です。また、氷の粒があつまつて、大きくなつておちてくるのが、あの雪なのであります

このやうに、くもは、その字を見ても「雨と云ふ」と書くとほり、雨とは縁がふかく、昔からくもをみて、雨がふるかどうかを、考へたものです

○

面白くすぐ判る 少年科學讀本

擬音のはなし

擬音器具や仕掛

ラヂオドラマでよく使はれる擬音これは文字通り擬物になぞらへた音といふ意味で色々の器具や仕かけを用ひてまつたく本物のやうな音をだすことをいふのであります

しかしその使ふ道具は人により所により別にきまつたものがあるわけではなく、要するにどんな方法をとらうとも實物そつくりの音が出せればいゝのです

擬音の目的 はこゝにあるわけですから、その仕かけを見ればこれはと驚くやうな場合も決して少くはありません

空中戰

たとへば敵機襲來!、空中戰開始の狀況をつたへる場合には、その一方法としては太鼓の近くに新聞紙を細く切つてつるしたノレンのやうな形のものを下げておき、これに電氣モーター裝置によつて大きな扇風機をまはします

電氣モーター

さうすると、モーターの廻てんによつてそのひゞきが太鼓につたはり、こゝにブーンといふうなりを發します、また新聞紙を細くきつたノレンのやうな形のものが扇風機の風にあふられて太鼓をうつのでドドドドといふやうな音を發します、これをマイクロフォンを通じて聽くとまつたく飛行機の襲來をおもはせます

扇風器

そして飛行機が遠くなつたり近くなつたりする有樣は、扇風機と新聞紙を下げた道具とを太鼓に近づけるか、または遠くにもつて行くかによつて

大太鼓

音に非常なちがひが出來てまつたく實際の場合と同じやうな音をだします

○

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀬春映（畫）

……二四三……

無音飛行機（三）

ピコルに、[illegible]ついて

「あなたは、これからあのホワイトハウスに大統領をたづねて、何事を進言するか、僕にはわかります」

「わかつたらいゝぢやないか」

ピコルは口をへの字にまげた。

「それは、不幸を招來する事です。アメリカ合衆國のためにも、世界のためにも、實に不幸な結果となります。あなたの進言によつて、大統領はうごかされる。あなたの努力は、アメリカ合衆國の政治的方面に、充分にのび切つてゐます。あなたは、このまゝ僕と一緒にニューヨークへ引きかへしてください」

ピコルは、栗飯原をぐいとにらんで

「お前は、日本人だらう」

「さうです」

「日本人なら、戰爭をこのむはずだ」

「いや、それが、まちがひなのです。日本人は徒らに戰をこのむ民族ではありません。世界の平和のために、時には戰をかまへることがあつても、おのれから戰爭をしかけたことは古來たゞの一度だつてありません」

「ところが、アメリカ合衆國は、いくさをこのむ」

「それは、あなただけではないでせうか」

「いや、アメリカ合衆國の民衆の意志と感情だ」

「あなたの企業慾が、アメリカ合衆國の民衆によびかけてゐるのでせう」

ピコルは、いら立たしさうに

「おれは、お前と無駄話をしてゐる暇がないのだ。話したかつたら戰爭がすんでからにしよう」

といつて、また歩きだす。栗飯原は、執えうにおひすがつて

「お待ちなさい」

「うるさい」

彼の手をふりきつた。

「では、どうあつても、大統領と會はれるのですね」

「約束だ」

「僕は、太平洋平和のために、あくまでも、あんたの足を引止めてみせます」

彼は、ピコルの行先に立ちふさがつて、大手をひろげた。

「お前は、腕力的な方法で、おれに掴つかうといふのだな。ところがおれは、もつと科學的に解決する」

といつて、ポケットに入れてゐた右手を出した。ごく小型な八連發銃をにぎつてゐた。

「なるほど、ピストルですか、だが、ピストルはもう古いですよ」

彼に嗤つた。

「お前の武器は?」

「僕は無手です」

「それぢや、勝負にはならない、なにか武器をえらべ」

さすがにピコルだけの事はあつて、彼に武器をすゝめる。

「僕は、これで澤山です。さア、この體格を射ぬきなさい。彈丸が僕の體を通り拔けて背後のにれの木にでもあたつたら。それで、あなたは、萬事うまく行つたとおもつたらまちがひですぞ、太平洋の平和を愛するものは、決して僕一人ではありませんから……」

「……」

「僕の背後には、八千萬の同胞がひかへてゐます。八千萬人の日本人は、一團となつて、僕のあとからついて來ます。いや、日本人のみではありません。アメリカ合衆國の民衆のうちにも、われわれと志を同じうするものは可なり多い事と信じます。ですから、こゝで僕が、あなたのために射殺されても、決して無駄死ではないとおもひます。僕の屍をふみこえて多くの正義の士が、あなたの行手をさへぎりとめるでせう。アメリカ人も、ロシア人も、ドイツ人もフランス人も、いや支那人までが、僕の意をついでくれるでせう」

「……」

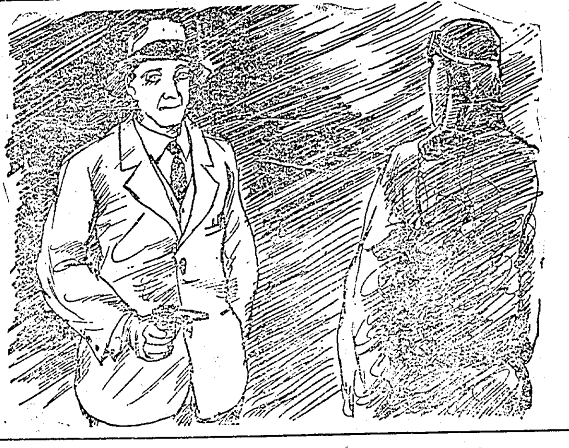
ピコルは默々として歩き出した

「卑怯です」

「だまれ!」

彼はふりかへつた拍子にピストルの引金を、にぎりしめてしまつた。

轟然たる一發の銃聲……。



コドモの海外珍談

金魚ニノッテ龍宮
ヒヤシソウメン
ウタヒマシタ
天ノ川ニ
フワリフワリ

◎**ロシア** 長距離の自動車競走——東洋におけるロシアの大道路建設の計劃を廣く知らせるために十五人の婦人たちが北滿の國境からモスクワへ向けて自動車競爭を試みんしてゆく豫定です

×

を離る——七千フイートのセルヴイニヤから八千七百フイートのメイソン高原へのぼる纜車道がつひに開通しました、それはマツターホーンの麓のスイス側へイタリーから通つて行く旅客の[illegible]

◎**カナダ** 野蠻なエスキモー——カナダ政府の一役人はハドソン灣、ハドソン海峽並びにバツフイン灣のエスキモーについて報告してゐますが、それによると彼らはこれまで食つけなかつた食物を可成澤山たべてゐるにかゝはら

新案特許第二三三三一五五號

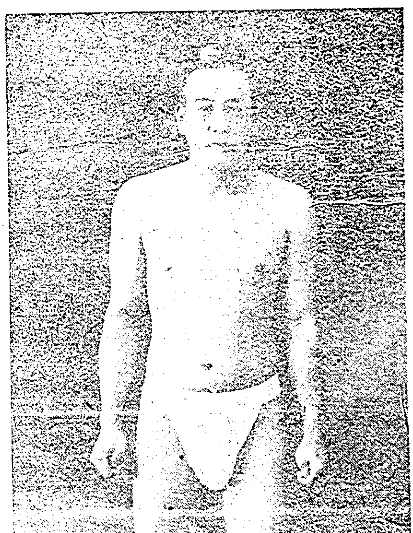
●保健サル又●

運動に!活動に!最も輕快!

七大特長
一、胃腸健康增進効果
一、保健腹帶兼用
一、体裁ノ最優美
一、穿心地ノ輕快
一、耐久力ノ豐富
一、洗濯簡單
一、價格ノ至廉

一定價一
大 0.30
特大
中小 0.28

▽地有名洋品店に有△



「パーマネントマシンの設備 —この平市實現
時代の要求
女性の自然美
初夏に相應しい
永續性のあるウエーブを
是非おすゝめ致します
最も安く!氣輕に!そして親切に!
御値 七圓〇〇 五圓〇〇 三圓〇〇（カール一式）（高級藥品使用）
水野化粧院
平市驛前 電六七八
自宅 電五二五

新研究の榮養化粧水
三共パパコロン 新製品
南洋の珍果パパイヤの果汁から抽出したパパイン酵素應用の特許新化粧水です。ニキビ・ソバカスの痕を消しスベスベしたお肌に若返へります。
一本 35セン
育髮毛料として評判のヨウモトニツク姉妹品ヨウモト香油(¥.60)もあります。
三共株式會社製品總代理店
（平市）西村屋藥局（電3）

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平市南町
電話一二九番

酒は良し
氣分も滿點
平市田町
おでん 呑兵衛

夏物は
是非!
當店から
（在庫富豊）
玉屋洋品店
平 田町通 電話六五六番

初夏の氣分と
行屆いたルーム
お出をお待ち致します
珈琲と御食事
グリル バツカス
電七〇二
◎女店員募集

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器
體溫計
寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
◎寫眞材料一式販賣致シマス
關內藥局
電話四〇番

良酒と洋食
經濟本位
レストラント
平商舗
電624

和洋 家具 建具
テーブル 椅子
其他裝飾品一般……
製作販賣
諸官衙 各學校 御用達
御用命は迅速に御努め致します
平市五丁目四
⑮片寄製作所
片寄小彌太
電話四八四
十五、六歳以上の見習徒弟募集
（御希望の方は至急申込下さい）

一齒科一般 保存科 補綴科 繼續架工科 齒槽膿漏科 齒列矯正科 小兒齒科
一口腔外科 一レントゲン科
中野齒科醫院
平市田町（松月堂向と）
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠